



平成18年1月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成17年12月5日

上場会社名 **ピジョン株式会社**

(コード番号: 7956 東証第1部)

(URL <http://www.pigeon.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松村 誠一

責任者役職・氏名 執行役員経営企画本部 IR室担当 大藪 克実

TEL (03) 3252 - 4113

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年1月期第3四半期の財務・業績の概況(平成17年2月1日～平成17年10月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年1月期第3四半期	31,396	5.0	1,758	14.0	1,728	13.6
17年1月期第3四半期	29,913	18.2	2,046	13.0	2,000	19.7
(参考) 17年1月期	40,719		2,714		2,621	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年1月期第3四半期	1,073	11.2	54	19	54	18
17年1月期第3四半期	1,209	30.9	60	12	60	02
(参考) 17年1月期	1,494		74	22	74	10

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。

(2)財政状態(連結)の変動状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年1月期第3四半期	35,151	19,868	56.5	1,006 85
17年1月期第3四半期	36,010	19,662	54.6	973 33
(参考) 17年1月期	34,382	19,997	58.2	989 43

(3)連結キャッシュ・フローの状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年1月期第3四半期	1,191	1,268	867	1,846
17年1月期第3四半期	3,123	2,595	580	3,171
(参考) 17年1月期	4,286	2,850	1,881	2,768

3. 平成18年1月期の連結業績予想(平成17年2月1日～平成18年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	42,700	3,000	1,650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 83円61銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的状況等]

当第3四半期（平成17年2月1日～平成17年10月31日の9ヶ月間）の売上高は313億96万円（前年同期比5.0%増）となりました。利益につきましては、営業利益は17億58百万円（前年同期比14.0%減）、経常利益は17億28百万円（前年同期比13.6%減）、四半期純利益は10億73百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりです。

[育児]

同事業に関しては、国内育児用品事業が厳しい状況にありますが、海外事業、子育て支援事業が前年同期実績を伸ばしました。なお、国内育児用品事業、海外事業、子育て支援事業に区分した概況は以下のとおりです。

国内育児用品事業

同事業は予想を上回る少子化の影響により、需要が減少する傾向は依然として続き、競争がより一層激しさを増しました。市場全体の小売価格も依然として下げ止まらず事業全体の安定感を実感するには至りませんでした。このように同事業は厳しい環境の中にあっても、子育て中の多くの方からこれまででもご愛用いただいております取替えカップ「マグマグ」、さらにはオムツ替えの必需品「おしりナップ」を全面リニューアルするなど機能性や使いやすさをより追求した新商品を市場に積極的に導入してまいりました。

海外事業

同事業のうち中国市場は旺盛な需要の拡大に伴い、これまでの沿岸部の大都市である北京、上海、広州のデパート、専門店から内陸部へと市場を拡大いたしました。本年7月に行った外部機関による調査によると、上海市在住の赤ちゃんを持つ母親への電話調査では約9割の方がピジョンブランドを知っており、さらに約4割の方が最も好きなブランドに挙げるなど、これまでの営業活動とともに病院への販売促進活動がピジョンブランドの構築に奏功したと考えられます。

一方、米国の連結子会社 LANSINOH LABORATORIES, INC. も北米市場のみならずヨーロッパへも順調に市場を拡大し、主要商品である乳首ケアクリーム、母乳パッドをはじめとした母乳関連用品はマーケットの中で優位性を持って受け入れられております。

子育て支援事業

同事業は昨年4月に受託いたしました独立行政法人国立病院機構の院内保育園113ヶ所の運営と、4月に施行されました「次世代育成支援対策法」により企業および病院内の事業所内保育園の需要は確実に増加し、これまでの運営実績から優位性を持って受託することができました。

当社グループは公立保育園の民間への運営委託は官民一体となったサービスの向上が必要と考えます。そこでこの受託には積極的に参加し、その結果12月からは練馬区立光が丘第八保育園、来年4月からは中野区立打越保育園の運営受託を開始いたします。

[ヘルスケア]

同事業は連結子会社の多比良株式会社保有する営業、開発をはじめとした経営資源を有効活用することと、栃木県下で事業展開している連結子会社のピジョン真中株式会社の在宅介護支援サービスの事業拡大による両社とのシナジーをより効果的に発揮することにより、ヘルスケア事業全体の売上拡大を図ってまいりましたが、若干前年同期実績を下回りました。

[その他]

同事業はマタニティ向けインナーウェアを販売する連結子会社のピジョンウィル株式会社が赤ちゃん専門店での販売と通信販売での業績が好調であったことにより前年同期実績を上回りました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、351億51百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較してたな卸資産等が増加したこと等により164億35百万円となりました。また、固定資産は、187億15百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金等の増加により148億70百万円となりました。また、株主資本は198億68百万円となり、この結果、株主資本比率は56.5%となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前第3四半期純利益の増加等により11億91百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産および無形固定資産の取得等により12億68百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出等により8億67百万円の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末より9億21百万円減少し、18億46百万円となりました。

第3四半期連結(要約)貸借対照表

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成16年10月31日現在)		当第3四半期末 (平成17年10月31日現在)		前連結会計年度 (平成17年1月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	(資産の部)		%		%	
流動資産	17,243,535	47.9	16,435,900	46.8	15,744,917	45.8
固定資産	18,766,473	52.1	18,715,325	53.2	18,637,604	54.2
1.有形固定資産	13,388,049		13,350,316		13,299,140	
2.無形固定資産	3,214,501		3,144,619		3,170,832	
3.投資その他の資産	2,163,923		2,220,389		2,167,631	
資産合計	36,010,009	100.0	35,151,225	100.0	34,382,522	100.0
(負債の部)						
流動負債	12,907,128	35.9	13,183,286	37.5	11,119,426	32.3
固定負債	3,067,615	8.5	1,687,213	4.8	2,878,977	8.4
負債合計	15,974,743	44.4	14,870,500	42.3	13,998,404	40.7
(少数株主持分)						
少数株主持分	373,213	1.0	412,593	1.2	386,383	1.1
(資本の部)						
資本合計	19,662,051	54.6	19,868,132	56.5	19,997,734	58.2
負債、少数株主持分 及び資本合計	36,010,009	100.0	35,151,225	100.0	34,382,522	100.0

第3四半期連結(要約)損益計算書

(注)千円未満切捨て

期 別 科 目	前第3四半期 〔自平成16年2月1日 至平成16年10月31日〕		当第3四半期 〔自平成17年2月1日 至平成17年10月31日〕		前連結会計年度 〔自平成16年2月1日 至平成17年1月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%	
売上高	29,913,985	100.0	31,396,033	100.0	40,719,607	100.0
売上原価	18,345,195	61.3	19,544,912	62.3	25,047,358	61.5
売上総利益	11,568,790	38.7	11,851,120	37.7	15,672,248	38.5
販売費及び一般管理費	9,522,746	31.9	10,092,292	32.1	12,957,900	31.8
営業利益	2,046,043	6.8	1,758,828	5.6	2,714,348	6.7
営業外収益	268,327	0.9	253,445	0.8	339,377	0.8
営業外費用	313,965	1.0	283,277	0.9	431,898	1.1
経常利益	2,000,405	6.7	1,728,996	5.5	2,621,827	6.4
特別利益	168,639	0.6	53,694	0.2	168,519	0.4
特別損失	49,629	0.2	59,514	0.2	177,145	0.4
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益	2,119,415	7.1	1,723,176	5.5	2,613,202	6.4
法人税、住民税及び事業税	919,362	3.1	610,099	1.9	980,197	2.4
法人税等調整額	87,797	0.3	5,724	0.0	46,829	0.1
少数株主利益	78,332	0.3	45,275	0.2	91,436	0.2
第3四半期(当期)純利益	1,209,518	4.0	1,073,526	3.4	1,494,738	3.7

第3四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(注)千円未満切捨て

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
		〔自平成16年2月1日 至平成16年10月31日〕	〔自平成17年2月1日 至平成17年10月31日〕	〔自平成16年2月1日 至平成17年1月31日〕
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		3,123,481	1,191,748	4,286,288
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		2,595,174	1,268,673	2,850,626
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		580,793	867,408	1,881,853
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		552	22,679	9,219
・ 現金及び現金同等物の増減額		51,934	921,653	455,411
・ 現金及び現金同等物の期首残高		3,223,703	2,768,291	3,223,703
・ 現金及び現金同等物の第3四半期(当期)末残高		3,171,769	1,846,638	2,768,291